

(第1号様式)

記入例

令和2年4月3日

奈良県知事 殿

所在地 〒630-XXXX 奈良市●●町△△番地

申請者 奈良の歴史大好き倶楽部

代表者 会長 山田 太郎

印

文化資源活用補助金交付申請書

団体印のみは不可。
必ず代表者印を押
印してください。

令和2年度に文化資源活用補助金の交付を受けたいので、下記事業について、文化資源活用補助金交付要綱第7条の規定により別紙関係書類を添えて申請します。

記

対象事業 (該当する対象事業に丸)	1 歴史文化資源の活用につながる保存・修理事業 2 歴史文化資源の活用のための周辺整備事業 3 歴史文化資源の普及啓発のためのイベント事業
事業名	日本書紀を語る講演会
対象となる歴史文化資源名 (複数の場合はすべて記載)	●●神社、●●●史跡、●●古墳
交付申請額 (1,000円未満切り捨て)	216,000 円
当申請事業と他補助金申請事業との重複の有無 (予定含む)	<ul style="list-style-type: none"> ・国宝重要文化財等保存整備費補助金 有 ・ 無 ・奈良県文化財保存事業費補助金 有 ・ 無 ・史跡等整備活用補助金 有 ・ 無 ・奈良県の他の補助金 有 ・ 無
文化資源活用補助金及び「記紀万葉」県民活動支援補助金における過去の採択回数	2 回

事業計画書、収支予算書の金額と矛盾のないよう記載してください。千円未満切り捨て。

他補助金との重複がないか確認の上、○印を付けてください。

事業計画書

1	事業名	日本書紀を語る講演会				
2	対象となる歴史文化資源名 (複数の場合はすべて記載)	●●●神社、●●●●史跡、●●●古墳				
3	事業目的	<p>〇〇市及び〇〇郡に伝わる〜〜〜という伝承は、地域に昔から伝わり大事にされてきたものである。この伝承を県内外の多くの方に、より深く知ってもらうことで、地元住民の郷土意識や誇りの醸成を図ることを目的とする。</p>				
4	事業内容及び実施内容	<p>日本書紀にゆかりのある市町村で、講演会を開催する。また、講演会と併せて観光ボランティアガイドによるエクスカージョンツアーを実施し、ゆかり地の魅力を伝える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1回運営会議→講師の選定及び募集チラシのデザイン検討。 ・第2回運営会議→チラシのデザイン決定、チラシ納品後に募集開始。 ・第1回講演会→〇〇市文化会館にて講演会開催(定員200名) 〇〇市観光ボランティアガイドによるエクスカージョン開催(定員40名) ・第2回講演会→〇〇町文化センターにて講演会開催(定員250名) 〇〇町観光ボランティアガイドによるエクスカージョン開催(定員50名) ・第3回講演会→〇〇ホールにて講演会開催(定員150名) 〇〇村観光ボランティアガイドによるエクスカージョン開催(定員30名) ・反省会→反省点を振り返り、来年度開催に向けた検討を行う。 <p>※各講演会実施後には、講演会の様子を特設ホームページとFacebookで発信する。</p>				
5	参加予定人数	600	人	6	事業の対象者	日本書紀に興味がある方
7	総事業費	730,000	円	8	交付申請額 (1,000円未満切り捨て)	216,000 円
9	事業期間	令和2年5月15日 ~ 令和3年2月23日				
10	第4-2号様式(収支予算書)と矛盾のないように記載してください。交付申請額は千円未満切り捨て。	月日	実施内容	場所		
		5月15日	第1回運営会議開催	〇〇会議室		
		6月13日	第2回運営会議開催	〇〇会議室		
		8月12日	第1回講演会開催	〇〇市文化会館		
		10月14日	第2回講演会開催	〇〇町文化センター		
		12月16日	第3回講演会開催	〇〇ホール		
		12月23日	反省会開催	〇〇会議室		
11	事業内容の新規性又は従前事業の振り返り及び改善計画 (本補助金採択経歴のある団体は記載してください)	<p>【昨年度の振り返り】 昨年度の参加者アンケートの結果から地域への関心度をより高める必要があるとわかった。</p> <p>【今年度における新しい取り組み】 昨年度の振り返りを踏まえ、地域の持つ歴史文化資源に関心を持ってもらうために、今年度から講演会に加え、ボランティアガイドによるエクスカージョンを実施する。エクスカージョンの内容を講演会と関連付けることで歴史文化資源に対する理解度を深める。また、各地域ボランティアとの交流によって、それぞれの地域に対する参加者の関心度アップを目指す。</p>				

様式1と同内容を記述してください。

事業の目的について具体的に記述してください。

内容の詳細を記述してください。

事業実施期間の終期は、事業の経費が全て支払い終わり、領収書が出揃う期間に設定してください。事業終了後の約1~2か月後と余裕をもって設定してください。

第4-2号様式(収支予算書)と矛盾のないように記載してください。交付申請額は千円未満切り捨て。

収支予算書

収入の部		支出の部	
内訳	予算額	区分	内訳
講演会参加料 400円×600名 エクスカーシオン参加料 200円×120名	240,000	報償費・旅費	講演会講師謝金 30,000円×3人 講演会講師旅費 5,000円×3人 ボランティアガイド交通費 1,000円×24人 運営スタッフ交通費 1,000円×10人×3回
入場料等収入	24,000	印刷費・広報関係費	小計 チラシデザイン料 チラシ印刷(片面カラーA4) 5円×3,000枚 講演会配布資料印刷(白黒A4両面) 5枚×20円×600人分 エクスカーシオン配布資料印刷(白黒A4両面) 4枚×50円×120人分
		会場費・設営費	小計 会場使用料 〇〇市文化会館 〇〇町文化センター 〇〇ホール
		その他	小計 封筒 10円×800枚 チラシ郵送料(300円×50箇所) 保険料 5,000
		補助対象経費	小計 運営スタッフ昼食代 1,000円×10人×3回 講師昼食代
	264,000	小計	小計 696,000
自己負担額	250,000	補助対象経費	30,000 4,000
奈良県補助金申請額 (補助対象経費-入場料等収入)×1/2 上限50万円	216,000	小計	34,000
収入総額	730,000	支出総額	730,000

支出は予め見積もり書
を取り寄せるなどして、
適正額で計上してください。

収入・支出ともに積算
内訳を必ず記載してく
ださい。

仕様・単価・数量も記載
してください。

補助金申請額は
千円未満切り捨て

団体調書

団体の名称	奈良の歴史大好き倶楽部		
活動の開始年月	平成24年 9月		
法人格	あり ・ 申請中 ・ なし (該当するものに○印をつけて下さい)		
認証・許可年月日	平成 年 月 日 所管庁		
所在地	〒630-XXXX 奈良市●●町△△番地 TEL 0742-XX-XXXX FAX 0742-XX-XXXX E-mail rekishidaisuki@nara.jp URL http://www.OOO.com		
代表者職・氏名	職名	会長	ふりがな やまだ たろう
			氏名 山田 太郎
連絡責任者 連絡先住所	氏名 奈良 花子 TEL 080-XXXX-XXXX FAX 0743-XX-XXXX E-mail narahanako@nara.jp 〒639-XXXX 大和郡山市●●町△△番地		
設立の目的 と 現在の活動内容	当団体は、奈良特有の歴史素材『古事記』や『日本書紀』を通じて奈良の魅力発信や地域愛の醸成を目的として、『古事記』完成 1,300年にあたる2012年を契機に設立した。現在は奈良市を拠点に、県内各地で講演会やウォークイベントなど様々な活動を行っている。 個人会員数 30人 団体会員 2団体 専従職員 10人		
団体の財政状況	■昨年度の決算	5,000,000 円	■今年度の予算 5,000,000 円
活動実績 (箇条書き)	【令和元年度の主な活動】 令和元年6月 古事記を語る講演会 (○○ホール) 令和元年9月 古事記を語る講演会 (●●文化会館) 令和元年11月 古の想いを辿るウォーキング会 (山の辺の道)		
備考			

法人格がない場合でも、規約等と役員名簿が必要です。

特に最近の活動内容について記載してください。

(第6号様式)

事業実施体制

団体名 奈良の歴史大好き倶楽部

代表者名 会長 山田 太郎

担当業務	氏名	団体での役職名	担当業務の詳細
総括・代表	山田 太郎	会長	全体総括
企画担当	●● ●●	副会長	講演会の企画責任者
企画担当	○○ ○○		エクスカージョンの企画責任者
企画担当	▲▲ ▲▲		講演会、エクスカージョンの企画・運営補助
広報担当	△△ △△		印刷物の発送責任者
広報担当	■ ■		印刷物のデザイン
広報担当	□□ □□		テレビ、ラジオ等での広報
渉外担当	◆ ◆		講演者等との出演交渉
総務担当	奈良 花子	事務長	事務・会計全般
監査担当	◇◇ ◇◇	監事	会計に関する監督

※役員及び職員のうち、この事業に関連する者について記入してください。

(第7号様式)

令和2年4月3日

団体目的等についての誓約書

団体名 奈良の歴史大好き倶楽部

代表者名 会長 山田 太郎

印

当団体は、下記の全ての事項に該当することを誓約します。

交付申請書(第1号様式)と同じ印鑑を押印してください。

記

1. 奈良県内に事務所の所在地又は活動の拠点を有すること。
2. 政治活動を目的としないこと。
3. 宗教活動を目的としないこと。
4. 営利を目的としないこと。
5. 暴力団又は暴力団若しくは暴力団員の統制の下にある団体でないこと。
6. 特定の公職者(候補者を含む。)又は政党を推薦し、支持し、又は反対することを目的とした団体でないこと。
7. 団体の全役員は、成年被後見人、被保佐人及び破産者で復権を得ない者のいずれにも該当しない者であること。
8. 文化資源活用補助金選定審査会の審査委員が、事業を実施する団体の一員でないこと。

※ 申請事業が、文化資源活用補助金交付要綱別表第1の(1)又は2の(1)、(2)若しくは(3)に該当する場合は、上記3を除く。

(第8号様式)

令和2年4月3日

奈良県知事 殿

所在地 〒630-XXXX 奈良市●●町△△番地

申請者 奈良の歴史大好き倶楽部

代表者 会長 山田 太郎

印

文化資源活用補助金事業指令前着手届

交付申請書(第1号様式)と同じ印鑑を押印してください。

文化資源活用補助金交付要綱第9条の規定により、下記条件を了承のうえ、届け出ます。

記

1 事業の名称

日本書紀を語る講演会

2 事前着手の理由

当該事業の実施が8月12日であり、交付決定の6月上旬までに、会場・講師の決定や広報のためのリーフレットの作成を開始する必要があるため。

3 着手及び完了予定年月日

着手	令和2年	5月	15日
完了	令和3年	2月	23日

着手年月日には、交付申請日以降の日付を記入してください。

4 条件

- (1) 交付決定を受けるまでの期間に、諸般の事情により実施した事業に損失を生じた場合は、これらの損失は上記団体が負担すること。
- (2) 交付決定を受けた交付金額が交付申請額に達しない場合においても、異義を申し立てないこと。
- (3) 着手から交付決定を受けるまでの期間内に計画の変更を行わないこと。